

第5回 市景観デザイン賞



コモンライフ日宇ヶ丘
緑の街並み (日宇町)
 建築協定を結び、住民の努力によって15年間、緑豊かな落ち着いた街並みが保たれています。



親和銀行本店 (島瀬町)
 市内の近代建築の中でもデザインが斬新で、全国的に見てもレベルが高く、本市の建築レベルを上げる先導的役割を果たしました。



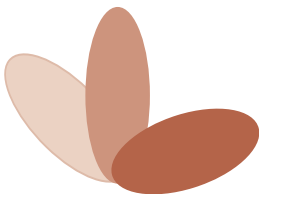
米軍基地内
赤レンガ倉庫群 (平瀬町)
 本市の歴史を伝える赤レンガ倉庫のうち、質、量ともに群を抜き、管理・保全状態も優れています。

佐世保らしい景観をつくっている建物や街並みを市民から募り、「市都市景観づくり委員会」が、「心やさしい海辺のまち・佐世保の景観づくり要綱」に基づいて選考しました。

景観デザイン賞に、「コモンライフ日宇ヶ丘・緑の街並み」を、特別賞に「親和銀行本店」と「米軍基地内・赤レンガ倉庫群」を選びました。

お尋ね 市役所まちづくり課 (☎④1111)

させぼ三景



本市を代表する景勝地として、「港・まち・佐世保」「九十九島」「ハウステンボス」がさせぼ三景に決定しました。

本市では、平成12年から「平成させぼ八景」の選定作業を進めてきました。市民から応募された候補と、それを基に行われた市民アンケートの結果を参考に、市都市景観づくり委員会が審議されました。その結果、八景に限定することは難しいとの理由で、より広い範囲を包括する「させぼ三景」としました。

佐世保らしさを守り、誇りと愛着の持てる場所として、市民の皆さんと一緒に育んでいきたいと思えます。

今後、観光客や佐世保を訪れる人にアピールしていくとともに、本市の都市景観づくりに活用していく予定です。

お尋ね 市役所まちづくり課 (☎④1111)

港・まち・佐世保



港には商船や艦船が浮かび、街には佐世保川に沿って商店街が並び、斜面地に住宅が広がっています。佐世保湾を取り囲む山と街が一体となり、水と緑と人々の営みが見事に調和した景観です。

九十九島



九十九島は、佐世保港外から平戸瀬戸までの25キロの海上に連なる208の島々からなり、島の密度は日本一です。昭和30年に西海国立公園に指定されました。

佐世保近海の南九十九島は特に美しく、夕日に映える島影のシルエットは市民や観光客に親しまれています。石岳や船越、展海峰などにある展望台のほか、遊覧船からも眺めることができます。

ハウステンボス



平成4年に誕生し、自然と環境に配慮した街をつくるため最新の技術を駆使しています。にぎわいを生み出すための施設に加え、四季を通して水と緑と花による演出がなされ、市民や観光客の目を楽しませています。

佐世保市史発刊

市制百周年記念事業の一環として進められていた市史の編さん事業のうち、通史編の上巻や軍港史編の上巻など5冊が完成し、10月30日、瀬野精一郎編さん委員長から光武頭市長へ手渡されました。



佐世保市史通史編上巻

先史時代から江戸時代までの歴史が収められています。

「佐世保市政七十年史」以降発見された史料や、新たな考古学的発掘調査の成果を盛り込んであります。執筆も大学教授などの専門家に依頼し、内容も学術的です。全八百四十四ページ。

佐世保市史軍港史編上巻

佐世保軍港のあゆみを中心に、港湾都市佐世保の成り立ちと変遷が分かります。

専門家による本格的な軍港都市の研究としては、日本で初めてのものとなります。全四編のうち、上巻には第一編総説「アジアおよび太平洋と佐世保」と、第二編「鎮守府と海軍工廠」が掲載されています。全五百五十六ページ。

佐世保の歴史、市制百周年記念

先史時代から現代までの歴史が、写真やイラスト、地図などをふんだんに使って、分かりやすくまとめられています。全二百三十三ページ。

このほか佐世保事典と佐世保年表も発刊されました。

学校や図書館などの公共機関に配布するほか、市内5書店で販売しています。価格は、通史編上巻七千円、軍港史編上巻六千円、佐世保の歴史千四百円、佐世保事典と佐世保年表は各千三百円です。

お尋ね 佐世保市史編さん室 (☎④3335)